

# 茶畑再生へ苗木17株

5/19

## 岸和田の丘陵、児童ら植栽

昭和初期に盛んだった岸和田市の丘陵地区の茶畑を再生させようと、同市内の畑で市立山滝小学校（同市内畑町）の2年生児童16人が、茶の苗木17株を植えた。

市はフクロウが営巣できる環境の保全を掲げ、市内に営巣所を持つ飲料メーカー、伊藤園（東京）と昨年7月に「フクロウ協定」を締結。その一環として「よみがえれ！お茶畑再生プロジェクト」を企画した。

同地区は昭和初期、ミカン農園や茶畑で栄えたが、農家が高齢化するなどして衰退。同小児童が地域の文化などを次世代につなげよ

うと昨年10月、校内のプラントナーに苗木17株を植栽。約30センチの大きさに育ち、今回茶畑再生のために植え替えた。児童らの卒業前には、茶摘みができる見通しで、地域交流茶会なども計画。土にまみれて移植した児童らは「早く大きく育ってほしい」と話していた。



茶の苗木を移植する岸和田市立山滝小の児童ら＝同市